

徳山医師会病院では睡眠時無呼吸症候群の検査を行っております

次のような症状は
ありませんか？



日中いつも眠い

夜間の呼吸停止

夜中に何度も
目が覚める



大きな
イビキをかく

起床時の
頭痛やだるさ

居眠り運転をよく
起こしそうになる

睡眠時無呼吸
症候群とは？

睡眠中に何回も呼吸が止まり、ぐっすり眠ることができない病気です。
大きなイビキや起床時の頭痛、夜間の呼吸停止、日中に強い眠気がさすなどの症状があります。

しかし、治療法も確立されておりますので、適切に検査・治療を行えば決して怖い病気ではありません。

潜在患者は人口の1%～2%といわれ、放っておくと高血圧や心臓循環障害、脳循環障害などに陥るといわれております。また、日中の眠気などのために仕事に支障をきたしたり、居眠りによる事故の発生率を高めたりするなど、社会生活に重大な悪影響を引き起こします。



どのような
検査
をするの？

終夜睡眠ポリグラフィという検査を行います。この検査では睡眠中の脳波や呼吸状態、血液中の酸素濃度、心電図などを同時に測定し、睡眠の深さや質を調べ、いい眠りが得られているかをみます。眠っている状態を調べる検査のため、1泊の入院が必要になります。頭や顔・胸・腹などに電極やセンサを着けますが、痛みなどはありません。日頃ご家庭でお休みになるようにリラックスして検査をお受けください。この結果によって、治療方法を検討します。一般的には、鼻にマスクを装着し適切な圧力をかけた空気を持続的に送り込むCPAP(経鼻的持続陽圧呼吸療法)による治療ですが他にも、耳鼻科的外科手術や歯科による口腔内装置などの治療もあります。



どのような
治療
をするの？

徳山医師会病院では

お仕事をもちの方でも、お仕事を休まずに検査
を受けていただけるシステム体制を整えております。

検査当日の午後8時00分までに来院 1泊入院検査 翌朝、退院OK
(ご希望があれば食事は病院でもご用意致します) (終夜睡眠ポリグラフィ) (結果は約1週間後にでます)

お問合せ先: 徳山医師会病院
電話番号: (代)0834-31-2350

終夜睡眠ポリグラフ検査とは？

< Poly Somno Grapy (PSG) >

この検査は睡眠時無呼吸症候群を中心とした、睡眠呼吸障害についての検査です。

脳波,目の動き,筋電図,を中心に心電図,呼吸運動など多くの生体現象を一夜の睡眠を通して記録する検査で全く痛みのない検査です。

下図のように頭部を中心にセンサを15本くらい胸部にはベルトを3本、合計で20本くらいセンサ等を取り付けますがいつも通りリラックスして就寝していただきます。

検査 Q & A

Q:寝返りはできるのですか？

A:センサのコードがありますので、動ける範囲がかぎられますが、ベッドの上に座ることもできます。

Q:トイレはどうすればいいのですか？

A:センサ類のずれ,はずれを防ぐため、尿瓶による介助やポータブルトイレをお願いしています。

Q:脳波は電気が流れてくるのでは？

A:脳波は体から出る電氣的信号をひろうもので、電気が流れてくるものではありません。
また、頭部にセンサ取り付けの際にのりの様な物をつけますが害はありませんし、すぐ洗い流せます。

Q:夜中に飲み物が飲めますか？

A:口の周りには呼吸を感知するセンサがありますが、ストローなどを使用して飲んでいただいています。

Q:いつまで検査するのですか？:

A:20:00頃からセンサ類を取り付け、21:00頃から測定を開始し、翌朝の5:30頃まで測定を続けます。

ただし、測定中ずっと寝ている必要はありません。測定時間内にご自身のペースで就寝してください。

(センサ類など取り付けの検査準備には、1時間くらいかかります。)